

3 創意工夫ある教育活動

(1) 学力向上に向けた取組み

○ 学びに向かう力の育成と学校図書館活用

- ・すべての児童の「本を読む」経験を保障するため、学校図書館支援員や保護者による図書ボランティア等と連携を図り、読むことに浸ったり、味わったり、じっくり時間をかけて読んだりすることができるよう、朝読書や読書月間の取組を推進する。
- ・区立図書館の司書等による出前授業を実施し、調べる学習や探究活動の場として学校図書館を活用することで、児童が目的に応じて多様なジャンルの本と出会えるようにする。

○ 学びに向かう力の育成と ICT 活用

- ・「ICT 活用推進計画」のもと、児童がタブレット端末を自分に合った学び方で活用できるよう、学年段階や児童の特性等に応じて、以下の機能やソフトウェアの利用を意図的・計画的に行っていく。
 - 指導者用デジタル教科書（外国語、算数、音楽）
 - 理解や意思表示を支援する機能（音声入力、音声読み上げ、写真・動画、手書き入力など）
 - 翻訳機能、協働学習支援ソフト、デジタルドリル、Scratch（プログラミング教育）
- ・令和4年度途中から試行している Teams による実践事例の共有を継続するとともに、教材が蓄積・共有されたポータルサイトの活用を促進する。
- ・タブレット端末やインターネット利用の光と影の両面から指導を行う必要があるため、端末の使用方法や「SNS 早稲田ルール」など、インターネット利用におけるルールの徹底、インターネット利用の利点に関する指導を、デジタル・シティズンシップ教育として推進する。

○ 教職員の資質・能力の向上

- ・全教員を対象に、管理職による自己申告に基づく授業観察を前期（4月～9月）、後期（10月～3月）の年2回以上実施し、事前・事後指導を行うことにより、教員の指導力を向上させる。

(2) 地域の実態・特色を活かした活動

- ・牛込第二中学校、鶴巻小学校と年2回、「学習指導」「生活指導」「特別支援教育」等の部会において意見交換会を行い、9年間を見通した児童・生徒に身に付けさせたい力を明確化することで、小中連携教育を推進する。
- ・地域協働学校運営協議会（スクール・コーディネーター含む）と連携し、学習支援（早稲田学）、読書支援、スポーツ支援の3点を根幹にしなが、地域や大学等、多様で幅広い支援や教育資源の活用を目指す。
- ・地域の偉人である夏目漱石から学ぶ学習を重視し、第5学年「坊ちゃん」、第6学年「吾輩は猫である」の原作に触れ、榎町地区町会連合会主催の「夏目漱石暗唱コンクール」に向けて原文暗唱に取り組む。
- ・課外活動(金管バンド)の実施にあたっては、「新宿区部活動ガイドライン」を遵守し、出場するコンクールの精選を図るとともに、校内での発表や地域行事への参加を通して、児童の豊かな感性と情操を育成する。
- ・新宿区ゼロカーボンシティ表明を踏まえた全庁的な取組の一環として、用紙使用量の削減を図るため、区立学校にアプリが導入されるまでの当面の間、保護者向け配布資料の一部をホームページからデジタルで提供する。また、この取組を今後充実させていくため、他部局等からの文書配布依頼は、電子データで受け付け、学校 HP からのリンクにより保護者に提供していく。